



伝統料理の講習会



「雪乃下 穴馬かぶら」収穫作業の様子

実践的自治会町内会論（後編）  
ここに生き続けられるために

第3章 地域づくり活動

■「産業」チームの取り組み

○株式会社九頭竜の贈り物の設立

「株式会社九頭竜の贈り物」は産業チームの提案により和泉自治会が100%出資して設立した会社です。山菜やキノコ類をはじめ、特産の九頭竜まいたけ、穴馬かぶら、穴馬スイートコーンなど地元特産の食材を地元生産者から仕入れ、加工し、県内外に販売しています。

産業チームでは、平成29年の会社設立に至るまでの3年間、和泉地区特産物活性化協議会と共に、国の山村活性化支援交付金の事業を活用し、有名シェフや専門家を招き、和泉地区の農林産物の商品化のためのノウハウや、その素材が秘める可能性につ

いて学ぶとともに試作品の開発に取り組んできました。会社設立後は、市から譲渡を受けた加工場を活用し、地区住民が育てる野菜や、採集する山菜などを塩漬け、ピクルスなどに加工して、地元の道の駅九頭竜などで販売するほか、福井青果市場への出荷や、会社設立までの間に協力を得た飲食店をはじめ、東京や大阪の飲食店へ出荷しています。

また、和泉地区の特産物である「穴馬かぶら」を、冬期間、雪の積もった土の中で寝かせることで、甘みの強い「雪乃下 穴馬かぶら」として現在ブランド力の強化に取り組んでいます。

住民に対しては、地区の活性化および住民の所得向上につながることを目的に、山菜の引き取り条件や買い取り価格を記載した和泉山菜手帳を作成して配布して

るようという思いで活動しており、活動の輪をさらに広げていくことで、今後「和泉に立脚したビジネス」となるような事業展開を目指しています。  
なお、当該取り組みを行ったことで、高齢者の活動の場を創出することができました。

○特産林産物の加工技術や食文化の伝承

和泉地区で伝承されている栃の実の灰汁抜き方法を受け継いでいくため、栃の実採取から栃の実の処理、灰汁抜きまでの全工程をDVDに収録しました。

数年に一度は、地区民が集まりDVDを見ながら全工程を実施したり、また新しい仲間にも伝えるなどして、伝承を絶やさないように努めています。  
今後も地区の残すべき食文化の伝承に取り組んでいきます。

■「人・伝統」チームの取り組み

○ホームページの作成、Facebookによる和泉地区の情報発信

人・伝統チームにおいて、和泉地区の歴史や文化に加え、和泉自治会での取り組み、

福井県大野市和泉地区 和泉自治会会長 辻善範

います。

このように山菜採集など住民ができる範囲内で商品の仕入れを行っていることから、まだ大きな利益を上げられていませんが、地区住民に少しでも現金収入が得られ



市内店舗での販売



和泉自治会ホームページを開設

地区内での取り組みについて紹介するホームページを作成するとともに、Facebookによるきめ細やかな情報発信を行っています。この情報発信は、和泉地区での出来事を広く知ってもらうだけでなく、かつて和泉地区に住んでいた方やその家族に対して和泉地区を懐かしく感じてもらうことにも、和泉地区を訪れてもらうきっかけとなることを目的としています。

○「広報いずみ」のデータ化

和泉地区の歴史を残し、後世に伝えるた





産業チームで企画した「栃の実灰汁抜き教室」に

「広報いずみ」データ化作業の様子

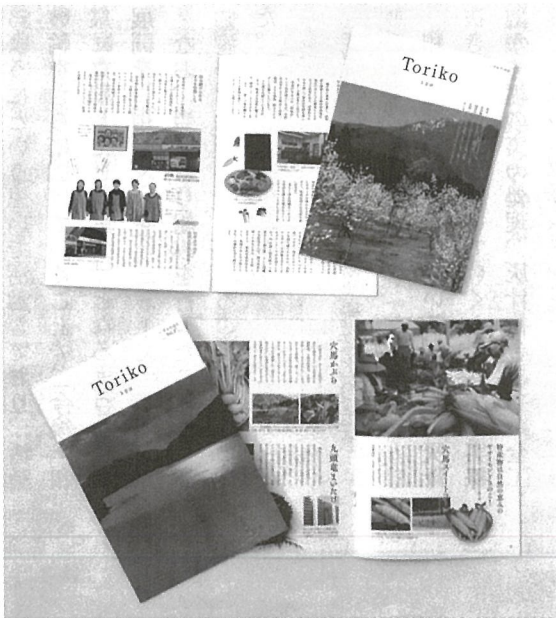


伝統手法を伝える DVD を作成

○伝統料理の作り方の映像資料化

め、旧和泉村が発行していた「広報いずみ」をスキナーでデータ化する作業に、平成30年から取り組み、令和2年12月に完了しました。1ページずつ手作業で行っているため、全ての作業を終えるまで時間がかかりましたが、作業を通して地区の歴史や生活風習を見つめ直す機会となりました。

完成した「広報いずみ」は、和泉自治会のホームページからご覧いただけます。



和泉の魅力を発信 いずみの本「Toriko」

において、名人の作業の様子を撮影し、DVDを作成して伝統的な手法を次世代に伝える取り組みを行っています。

#### ■全体の取り組み

令和2年度に和泉地区を紹介した冊子「いずみのほん」[TORIKO]を市の交付金を活用して発行しました。令和3年度には「Toriko vol.2」を発行し、地区全世帯に配布するほか、地区外（市内外・県外）の方にも和泉地区の魅力を発信するため当該冊子を活用しています。

手に取ってくれた方が、一人でも多く和泉地区の「トリコ」になっていただければ

う今後も「Toriko」で和泉の魅力を発信していきます。

### 第4章 和泉地区のこれから

和泉自治会では会員（地区住民）が自ら考え、試行錯誤しながら、和泉地区で生き続けられるために必要となる取り組みを、できることから、できる範囲で住民を巻き込みながら行っています。

これからも計画策定時の初心を忘れず、計画を進めていかなくはなりません。目前に迫った中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通で、市内との距離や時間が短縮されますが、住民の生活はどのように変化するのか、観光施設や観光資源をどのように活用していくのか、中部縦貫自動車道の開通を契機に和泉地区にできるインターから降りてもらえるような地域づくりをどう進めていくかなど、地域の課題は尽きません。

こうした課題を認識し考え活動できるよう、今後も「ここに生き続けられるために」地区住民みんなで取り組んでいきます。（了）